



きりんぐみだより

5歳児 きりん組 No.5

令和3年8月24日
田島わくわく保育園
担任 小林 斎藤

暑い日が続いていましたが、台風の影響で雨が降り気温が少し下がってきました。いづらか過ごしやすくなったでしょうか。夏ならではの水遊び、プール遊びを「今日はする?」「またしたい。」と楽しみにしている子ども達です。子ども達は水鉄砲にどうしたら水をたくさん入れられるか、どうやったら遠くまで飛ばせるか、何回もやりながら、友達と競争しながら狙いを定めて飛ばしていました。色水遊びでは赤、青、黄の水をタライにいっぱい作り置くと少しずつ混ぜて色の変化を見ていました。「紫! どうやって作るの?」「ここに誰か、黄色入れて。」と新しくできる色を発見し、再び混ぜて確かめていました。紫、オレンジ、緑が出来る事を知り、全部混ぜるとなんだか分からない変な色になり、『それは灰色だ』となりました。タライの中の水が少なくなると、すくいにくなります。どうするかな?と見ていると、一緒に遊んでいる子がタライを持ち上げて傾け水を片方に寄せていました。「誰か、貸して。」「これいる?」「次、貸して。」「いいよ。」等々。時には、言い合い等トラブルもありますが、協力して遊び姿に成長を感じています。自分の気持ちを伝え相手の気持ちを知り、譲り合う気持ちや相手を思う優しい気持ちが育って欲しいと思います。



きりん組になって…5カ月

きりん組になって“お口のお便り”(連絡事項)が増えています。子ども達自分で話を聞いて、『必要な物をいつまでに持って来る。』というものが多いです。大事な事は“きちんと話を聞く事”伝える事“です。もし、忘れていたら、困るのは自分(子ども)です。困らないようにするにはどうしたら良いか、を子ども達に考えて欲しいのです。誰かが助けてくれると思っている子は、“自分で考えようとしな” “行動をしようとしな” のでその先へ進むことができません。いつまでも誰かがしてくれる事、声を掛けてくれる事を待っています。一つ用意する物を忘れたとしたら、次の日に揃える。日にちを忘れたら、とりあえず持って行く、そして確認する。等一回で完璧に出来なくても、出来るまでの過程も経験です。連絡事項は玄関への張り出しをしているので見て頂きたいと思います。

生活の中に時計を取り入れています。大まかな時刻の読み方を知り見通しを持って生活出来るように、また自分で考えて行動出来るように「長い針が、〇のところで」と話して時計を見て活動をしています。

また、ゲームや遊びの中にルールがあるように、部屋の中や廊下は走らない、自分がされて嫌なことは人にはしない等、園だけでなく社会のルールやマナーを、その時々に応じた言葉かけをして伝えています。今、子ども達は自分で考えて行動しようとしている途中です。その姿を見守り、私たち大人がお手本となるようにしていくことが大切です。

